



2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社サイトリ細胞研究所
(東証スタンダード：証券コード3750)

01

2024年3月期 第2四半期 決算概要

02

2024年3月期 上半期事業トピック

03

2024年3月期 下半期事業構想

04

Appendix – サイトリグループ概要

2024年3月期 第2四半期 決算概要：業績サマリ

[百万円]

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額
売上高	1,172	862	△ 310
営業利益	△ 380	△ 354	26
経常利益	△ 437	△ 423	13
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 561	△ 443	117

	2024年3月期 通期 連結業績予想	2024年3月期 第2四半期 連結業績実績	進捗率
売上高	1,790	862	48.2%
営業利益	△ 21	△ 354	—
経常利益	△ 80	△ 423	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 30	△ 443	—

✓ メディカル事業では、営業販売体制の再構築を実施したことが影響し、セルーション遠心分離器及びセルーションセルセラピーキットの販売が計画を下回る。また、アライアンス先の選定や細胞治療サービス提供開始が当初想定から遅れ。

⇒ 営業販売体制の再構築は概ね完了。上期の遅れを下期挽回を図る。

✓ リアルアセット事業では、ホテル金沢における宿泊・宴会の売上が継続して回復傾向。

⇒ ホテルの業績回復は、アセット整理に向け好材料。下期中の販売、収益計上を目指す。

2024年3月期 第2四半期 決算概要：セグメント情報

[百万円]

	セグメント	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	主な増減要因
売上高	メディカル事業	83	44	△ 39	営業販売体制の再構築によりセルーションセルセラピーキットの販売実績が前年同四半期を下回る。
	リアルアセット事業	1,089	817	△ 271	前年同四半期は匿名組合出資持分売却による売上を計上。当四半期は特殊要因はなし。
	計	1,172	862	△ 310	
営業利益	メディカル事業	△ 118	△ 284	△ 166	複数の疾患に対する研究開発の進捗により費用が増加。営業利益が減少。
	リアルアセット事業	△ 187	17	170	新型コロナウイルスが落ち着き、ホテル金沢における売上が順調に回復。セグメント黒字達成。
	全社又は消去	△ 74	△ 86	△ 12	
	計	△ 380	△ 354	26	

01

2024年3月期 第2四半期 決算概要

02

2024年3月期 上半期事業トピック

03

2024年3月期 下半期事業構想

04

Appendix – サイトリグループ概要

● **日本での新たな特許を取得**

当社連結子会社のサイトリ・セラピューティクスにおいて、Cytori Cell Therapy™技術に関する日本での新たな特許を取得いたしました。

当該特許は、「熱傷の進行の緩和ならびに皮膚移植片の取り込みおよび治癒の改善における再生細胞の使用」に関する特許で、創傷部位内への皮膚移植片の取り込みを促進し、治癒の加速を目的とした脂肪組織由来再生(幹)細胞「ADRCs」の静脈内投与に関する14の請求項が含まれます。(特許第7303612号)

広範囲の傷または重度の創傷に対する現在の標準治療は、ドレッシング、皮膚移植、代用皮膚で構成されています。これらの治療にもかかわらず、重度の熱傷(やけど)を負った患者さんは一般的に、長期にわたる痛み、激しい瘢痕化、皮膚の拘縮、可動域の減少等に悩まされています。

サイトリが提供する細胞療法の静脈内投与は、体表面積全体に広がったさまざまな種類の創傷の瘢痕化を軽減し、治癒の質と速度を向上させる可能性があります。

● 株主優待制度を新規導入

株主の皆様に対して還元すること、より多くの投資家の方々に当社事業への理解と支援をいただくこと、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的として株主優待制度の新規導入を決定しました。決定した株主優待制度の内容は以下の通りです。

対象となる株主様	保有株式数 (基準日時点)	優待内容
毎年3月末日現在の株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上の当社株式を保有されている株主様	100株以上	QUOカード 5,000円分

また、株主優待の導入初年度は、新規導入を記念して「記念優待」も実施することを決定しました。決定した記念優待の内容は以下の通りです。

対象となる株主様	保有株式数 (基準日時点)	優待内容
2024年3月末日時点の株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上の当社株式を保有されている株主様	100株以上	QUOカード 500円分

当該株主優待制度は次年度以降も内容を変更せず、継続実施の予定です。当社に対する中長期的なご支援をよろしくお願いいたします。

● **杉山産婦人科グループと婦人科領域の研究開発で業務提携**

当社連結子会社のサイトリ・セルセラピーにおいて、70年以上の歴史を有する産科医療グループの杉山産婦人科グループ（医療法人社団杉四会）との間で業務提携契約を締結。

当該提携において、脂肪組織由来再生(幹)細胞（ADRCs）を用いた女性腹圧性尿失禁を対象とした有効な治療法の研究開発を中心に、不妊、産後の毛髪再生などの婦人科領域への展開を進める予定です。

【具体的な提携内容】

- (1) 婦人科領域における各種データの共有**
- (2) ADRCsを用いた女性腹圧性尿失禁及び不妊治療に関する共同研究・開発**
- (3) 産後の毛髪再生や身体的回復など、ADRCsを用いた産後ケア療法の共同研究・開発**

杉山産婦人科グループは、生殖医療（不妊治療）や産後のケアサービス等にも早期から積極的に取り組んでこられ、理事長の杉山カー氏は、不妊治療に対する医療費助成について日本政府への働きかけを行い、保険適用の実現にも多大な貢献をされました。同グループとの協力関係により、婦人科領域における細胞治療技術の早期活用を目指します。

● **動物領域の細胞治療事業を開始**

動物領域での細胞治療サービスの展開に向け、新たに子会社「アニマルセラピー（株）」を設立しました。

アニマルセラピー（株）では、サイトリグループが研究開発を重ねてきたヒトでの細胞治療技術を応用し、犬や猫などのペットや競走馬に対する細胞治療サービスを提供する予定です。

新たな事業の開始にあたり、以下の目標をKPIとして定めます。

- **取扱施設数：300以上**（当社サービスを導入する動物病院）
- **達成時期：2024年4月末日まで**

動物に対する細胞治療の効果を視聴していただくことができるよう、動画公開サイトを設けました。以下のリンク先に順次動画をアップロード予定です。

https://www.youtube.com/@animal_cytori/featured

● 術後の癒着防止吸水性バリア「Cyt-006」臨床試験が順調に進捗

当社連結子会社サイトリ・セラピューティクスが2022年7月より開始した、原発性直腸癌における腹腔鏡下手術及び一時的人工肛門造設術を施行する患者を対象とした、癒着防止吸収性バリア「Cyt-006」の臨床試験は順調に進捗しております。

癒着防止吸収性バリア「Cyt-006」は、外科手術を受けたことによって生じる術後の合併症である、外科的に侵襲を受けた組織と周囲組織がくっつき線維化が引き起こされることを防止します。「Cyt-006」は、FDA（米国食品医薬品局）にて2021年1月に市販前届出 510(k) 認可を得て、米国内で販売され、既に使用実績が豊富な製品です。

合計158症例の登録による有効性及び安全性を検証する当該臨床試験は、2023年9月時点において計14施設で143症例の登録を完了し、進捗率は91%となっております。年内には全ての症例登録が完了する見込みです。

補足

術後癒着は、外科手術における術後合併症であり、外科的に侵襲を受けた組織と周囲組織がくっつき、線維化が引き起こされることによって生じます。その結果、腸閉塞、激しい腹痛、不妊などの癒着合併症を引き起こし、患者さんに長く辛い苦痛を与えるリスクがあります。

海外での術後癒着に関する調査では、原発性直腸癌に対する手術治療における術式別で、開腹手術では78.9%、腹腔鏡下手術では37.7%に術後癒着が発生したことが報告されています。

01

2024年3月期 第2四半期 決算概要

02

2024年3月期 上半期事業トピック

03

2024年3月期 下半期事業構想

04

Appendix – サイトリグループ概要

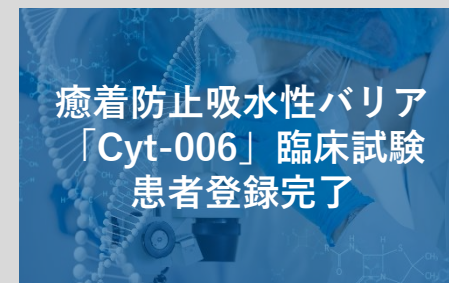
下半期は翌期以降の中長期的な成長を見据えた事業基盤の整備・構築を推進します。



- 当社グループが保有する複数の不動産アセットの売却活動を加速推進する。
- 不動産アセットの売却完了後は、メディカル事業への経営資源の集中により、事業成長を後押し。



- 脂肪組織由来再生(幹)細胞 (ADRCs) を用いた細胞治療サービスの更なる拡大を目指し、利用機会の増大につながる施策を実施。
- 利用機会の拡大に向けた研究開発のため、大学等の研究機関や、周辺サービスを展開する企業とのアライアンスを模索。
- 大手医療系企業に対する、限定的な適応疾患における導出を検討。



- 現在進行中の臨床試験を引き続き進捗、予定している全ての患者登録の完了を目指す。
- 当社グループが有する日本国内における独占販売権の導出活動を開始する。

01

2024年3月期 第2四半期 決算概要

02

2024年3月期 上半期事業トピック

03

2024年3月期 下半期事業構想

04

Appendix – サイトリグループ概要

会社名	株式会社サイトリ細胞研究所
設立	2004年10月1日
資本金	1億円（2023年9月30日現在）
代表者	星野 喜宏
所在地	東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング
事業内容	メディカル事業 ・医療機器の製造、輸入及び販売 ・脂肪組織由来再生（幹）細胞を用いた細胞治療の研究開発 リアルアセット事業 ・不動産の販売、不動産関連投資 ・ホテル運営
従業員数	68名（連結ベース、2023年9月30日現在）
主要子会社	サイトリ・セラピューティクス株式会社 サイトリ・セルセラピー株式会社 株式会社アニマルセラピー デューイ株式会社 ホテル金沢株式会社 フラクタルホスピタリティ株式会社 等

取締役

代表取締役社長 星野 喜宏

AIGスター生命保険(株)にて取締役、富士生命保険(株)にて代表取締役社長、富士火災海上保険(株)にてグループ執行役を歴任。
2018年より当社取締役に就任し、2023年より当社代表取締役社長。(現任)
スターキャピタルマネジメント(株)の代表取締役 (現任)

取締役 東 明浩

1986年より(株)リクルートにて勤務。
その後、チェッカーモータース(株)の代表取締役、アント・コーポレートアドバイザー(株)(現ACA(株))の代表取締役社長(現任)、(株)本間ゴルフの代表取締役社長、(株)CSKホールディングス(現SCSK(株))の代表取締役会長、ACA Investments Pte.Ltdの会長(現任)等を歴任し、2023年より当社取締役(現任)

取締役 藤村 剛

2006年よりエコナック(株)(現エコナックホールディングス(株))にて勤務。その後、ファーストコーポレーション(株)にて総務人事部長、ホームポジション(株)にて管理本部総務人事部課長を歴任。2019年より当社リスク管理部長、2022年からは当社経営企画部長兼リスク管理部長(現任)を務め、2023年より当社取締役に就任(現任)

取締役 (監査等委員)

取締役 監査等委員 若木 裕

1983年より、東京国税局、関東信越国税局、仙台国税局、金沢国税局にて勤務し、総務部長及び国税局長等を歴任。
2021年に税理士登録。
2022年より当社の一時取締役(監査等委員)に就任し、2022年より当社取締役(監査等委員)(現任)

取締役 監査等委員 小林 弘樹

1992年より(株)住友銀行(現(株)三井住友銀行)にて勤務。
その後、大阪府警察本部 財務捜査官、(株)フィットにて取締役に歴任。
2011年に(株)アキュレートアドバイザーズを設立 代表取締役に(現任)
2023年より当社取締役(監査等委員)(現任)
(株)ピーマップの社外監査役(現任)

取締役 監査等委員 林田 康隆

大阪大学医学部附属病院及び国立大阪病院(現独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)にて研修医として勤務。
2005年に大阪大学大学院医学系研究科博士課程を修了(医学博士)し、米国フロリダ州マイアミオキユラーサーフェスセンターに入職。
その後、医療法人社団和康会 林田クリニック 理事、Y'sサイエンスクリニック広尾 院長を経て 医療法人社団康梓会 Y'sサイエンスクリニック広尾 理事長(現任)
2023年より当社取締役(監査等委員)(現任)

グループ事業概要

メディカル事業

医療機器の製造・販売
細胞治療の研究

cytori

サイトリ・セラピューティクス

細胞治療サービスの提供

cytori

サイトリ・セルセラピー

動物領域への
細胞治療サービスの提供

cytori

アニマルセラピー

グループ経営管理

cytori

サイトリ細胞研究所

リアルアセット事業

不動産販売
不動産関連投資

do

デューイ

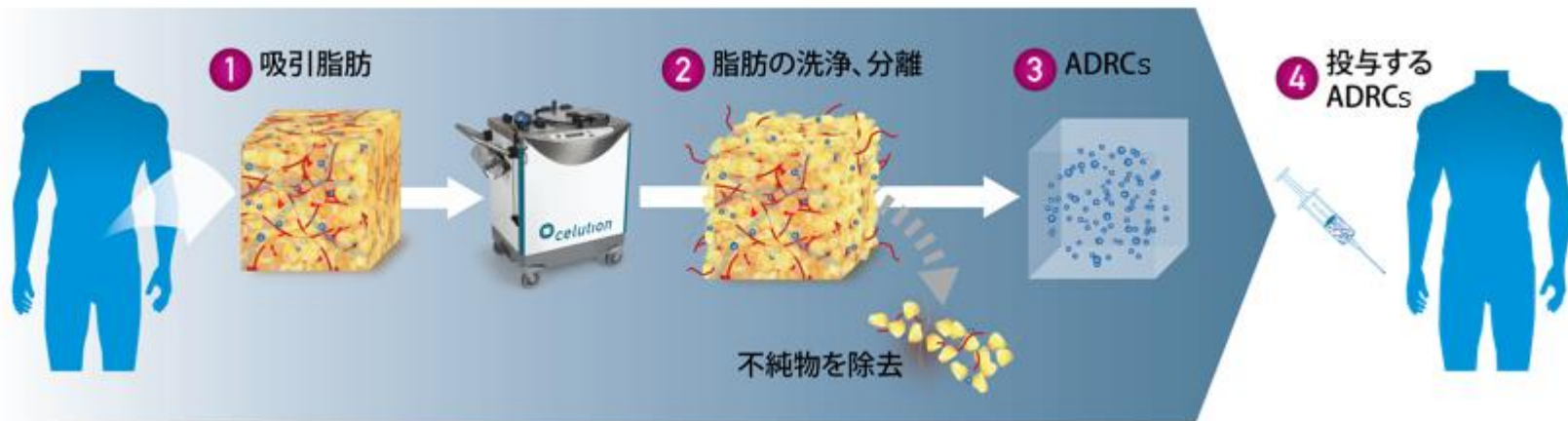
ホテル運営
ホテルオペレーション

FRAC^TALE
HOSPITALITY

フラクタルホスピタリティ

メディカル事業への経営資源の集中に向け、
リアルアセット事業の整理を進行中

細胞治療の流れ／製品紹介



- 患者から採取した皮下脂肪組織から、特許技術のプラットフォームである「セルーション 遠心分離機」及び「セルーションセルセラピーキット」を用いて、脂肪組織由来再生（幹）細胞（ADRCs）を抽出。
- 抽出したADRCsは培養をすることなく、その日のうちに患者へ投与し、施術は完了。

セルーション 遠心分離器 一般医療機器・クラスI



医療機器製造販売届出番号：13B1X10155000001

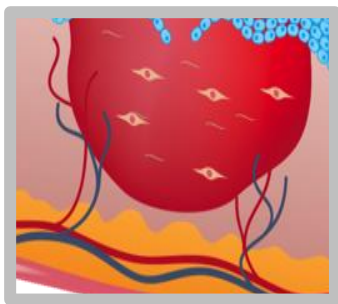
セルーション セルセラピーキット 高度管理医療機器・クラスIII



医療機器製造販売承認番号：23000BZX00357000

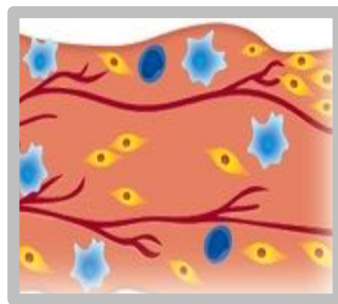
脂肪組織由来再生（幹）細胞（ADRCs）の特徴

- 特許技術のプラットフォームであるセルーションシステムを用いて、脂肪組織由来再生（幹）細胞（ADRCs）を抽出することが可能です。培養を必要とせず、その日のうちに患者に投与します。セルーションシステムは、国内で厚生労働省の認可を受けた医療機器です。
- 本治療は、患者のADRCsを、体内に戻すことで様々な治療効果を期待するものです。ADRCsは、障害部位を探し当てて自発的にその部位に集積するホーミングとよばれる能力を持っていると考えられています。そのためADRCsを経血管的に投与、乃至は患部に直接投与することにより、損傷ないしは機能低下を来した組織にADRCsが集積してその修復や再生を促し症状の改善が期待されます。
- ADRCsの作用は、血管新生、炎症の調整、線維化の減少／組織修復といった作用があると考えられています。



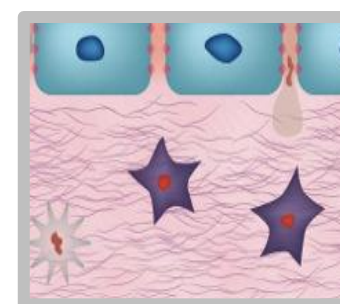
血管新生/血管障害

- 血管新生の促進
- 血管構造の正常化
- 血管収縮能の改善



炎症

- 炎症性因子と抗炎症因子の調整
- 炎症性細胞の機能と抗炎症細胞の調整



線維化/組織修復

- 線維化の形成を減少
- 線維化組織のリモデリング

本資料のお取り扱いについて

- 本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料には、監査法人による監査を受けていない管理数値が含まれています。
- 本資料に含まれている今後の戦略、計画、将来の見通し、並びにその他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。その為、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な原因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。
- 今後、新たな情報や将来の出来事等が発生した場合でも、当社は本資料に含まれる内容の更新、修正を行う義務を負うものではありません。

今後とも更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先：当社ホームページ | R 問い合わせ
<https://cytori.co.jp/contact/>